



国民春闘共闘

2026年度 第4号

2025年12月12日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

TEL 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

25年・第3回年末一時金集計（最終）

単純平均 2.02 カ月 604,186 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は12月11日、
2025年第3回目となる年末一時金最終集計を行いました。

＜回答状況＞

	2025年	2024年同期
回答引き出し組合	1,080	1,189
うち 妥結組合	528(48.9%)	634(53.3%)

＜要求と回答内容＞

集計方法&対象		2025年回答	2024年同期	同期比
単純平均	月数	2.02	2.02	±0
	額(円)	604,186	605,184	-998
加重平均	額(円)	610,473	624,117	-13,644
	組合員数	140,347	154,226	

＜前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較＞

		組合数	前年実績以上	前年実績超	25年回答	24年実績	実績比
単純 平均	月数	887	642(72.4%)	266(30.0%)	2.03	2.02	+0.01
	金額	480	345(71.9%)	314(65.4%)	614,184	600,963	+13,221

＜非正規の仲間の回答状況＞

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.836	1.438	0.570	1.151
	前年最終	0.851	1.314	0.587	1.097
	額(円)	88,235	266,253	177,219	316,979
	前年最終	76,034	283,766	183,470	202,728

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

12月11日に実施した2025年の年末一時金最終集計となる第3回集計には、別表の30単産・部会から報告が寄せられました（前年最終集計2024年12月12日：31単産・部会）。

回答引出し組合は2099組合のうち1080組合（51.5%）で、前年最終集計（1189組合・56.5%）を109組合・5%下回っています。

回答引出し組合のうち、174組合（16.1%）が数次の上積み回答を引き出しています（前年最終集計：210組合・17.7%）。4次回答が9組合（日本医労連4組合、JMITU、全労連・全国一般：各2組合、映演労連1組合）、3次回答が32組合（JMITU15組合、日本医労連7組合、全倉運3組合、映演労連2組合、全農協労連、民放労連、出版労連、全労連・全国一般の医療、全労連・全国一般のサービス：各1組合）、2次回答が133組合となっています。

春闘・夏季闘争での交渉も含めて、回答引出し組合の48.9%にあたる528組合が妥結・収拾方向となっています。

回答内容

回答月数が判明している952組合での単純平均（一組合あたりの平均）は、2.02カ月で、前年最終集計（2024年12月12日）と同月数となりました。

金額回答のあった535組合での単純平均額は604,186円で、加重平均額（組合員一人あたりの平均）は610,473円となりました。前年最終集計比では単純平均でマイナス998円、加重平均ではマイナス13,644円となっています。

最高月数は民放労連の1組合での8.22カ月となっています。以下、5カ月台が5組合（出版労連2組合、建設関連労連、化学一般労連、民放労連：各1組合）、4カ月以上5カ月未満が9組合（JMITU、民放労連：各3組合、建設関連労連、化学一般労連、出版労連：各1組合）、3カ月以上4カ月未満が58組合と続いています（前年最終：月数回答引出し1058組合／5カ月以上6組合、4カ月以上5カ月未満13組合、3カ月以上4カ月未満63組合）。

また、金額回答のあった535組合のうち、100万円以上の回答を引出したのは45組合・8.4%（JMITU13組合、出版労連12組合、化学一般労連6組合、全労連・全国一般の製造、建交労・鉄道、全倉運、民放労連、日本医労連：各2組合、建設関連労連、全印総連、建交労・サービス、全労連・全国一般のサービス：各1組合）で、前年最終集計の53組合・9.0%を8組合・0.6%下回りました。出版労連の2組合では200万円以上の回答を引き出しています。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では887組合の単純平均で今期は2.03カ月と前年実績2.02カ月を0.01カ月上回っています。このうち前年実績超が266組合（30.0%）、前年実績同月数が376組合（42.4%）、前年実績未満が245組合（27.6%）となっています。前年最終集計（前年実績超34.5%、前年実績同月数39.9%、前年実績未満25.6%）と比べ、前年実績超の割合が低くなっています。

金額では480組合の単純平均で今期は614,184円と前年実績600,963円を13,221円上回り、引上げ率は2.2%となっています。35組合（全倉運8組合、化学一般労連6組合、日本医労連5組合、JMITU4組合、建交労・社会福祉3組合、建交労・運輸2組合、全農協労連、建交労・製造、建交労・鉄道、全労連・全国一般の卸売・小売、民放労連、出版労連、建交労・サービス：

各 1 組合) が前年実績額より 10 万円以上高い回答を引き出したのをはじめ、314 組合 (65.4%) が前年実績を超える金額を獲得した一方、JMITU 9 組合、日本医労連 4 組合、出版労連 2 組合、建交労・運輸、全倉運、民放労連、建交労・社会福祉：各 1 組合の計 19 組合が前年実績を 10 万円以上下回るなど、135 組合 (28.1%) が前年実績未満となっています。

産業別に見ると、農林水産は前年最終集計を 0.11 カ月上回る単純平均 1.97 カ月となっており、前年実績比較可能組合で見ても前年とほぼ同水準です。

鉱業・建設業は、回答引出し組合が少ない状況ですが、単純平均 2.60 カ月・588,194 円、加重平均 655,400 円で前年最終集計（単純平均 2.85 カ月・733,482 円、加重平均 701,145 円）を単純平均で 0.25 カ月・145,288 円、加重平均で 45,745 円下回りました。

製造は、単純平均 2.36 カ月・737,024 円、加重平均 787,164 円と高水準となっており、前年最終集計（単純平均 2.30 カ月・715,258 円、加重平均 779,061 円）を単純平均で 0.06 カ月・21,766 円、加重平均で 8,103 円上回っています。前年実績比較可能組合での単純平均を見ると、建交労・製造（前年実績比 0.09 カ月・98,000 円増）、化学一般労連（同 0.06 カ月・22,992 円増）、全労連・全国一般（同 0.05 カ月・16,260 円増）などとなっています。

運輸・通信は、単純平均 2.22 カ月・527,737 円で、前年最終集計（単純平均 2.10 カ月・498,751 円）を 0.12 カ月・28,986 円上回っており、前年実績比較可能組合で見ても 0.07 カ月・25,659 円のプラスとなっています。JMITU 通信（単純平均 2.90 カ月・887,000 円）、全倉運（同 2.39 カ月・706,144 円）が高水準となっています。運輸関係では、前年を上回る回答状況となっていますが、低水準の厳しい状況が続いています。

卸売・小売は、単純平均 1.83 カ月・583,985 円、加重平均 594,453 円です。前年最終集計（単純平均 1.85 カ月・595,120 円）との比較では単純平均で 0.02 カ月・11,135 円のマイナスとなっていますが、前年比較可能組合で見ると 0.02 カ月・21,320 円のプラスです。

金融・保険は、回答組合数が少ないものの単純 2.12 カ月・762,412 円、加重平均 740,980 円と高い水準となっています。

マスコミ関係では、単純平均 2.28 カ月・846,308 円と高水準となっていますが、前年最終集計（単純平均 2.29 カ月・860,984 円）を下回りました。前年実績比較可能組合で見ると民放労連、映演労連は月数・金額ともにプラス、全印総連、出版労連はマイナスとなっています。民放労連、出版労連、映演労連が高水準の一方で、全印総連では単純平均 1.72 カ月・356,465 円と低水準となっています。

医療関係は、単純平均 1.81 カ月・487,338 円、加重平均 494,684 円となりました。前年最終集計比マイナス 0.04 カ月、前年実績比較可能組合でもマイナス 0.01 カ月となっており、前年最終集計時点での比較可能組合の状況が一昨年から 0.07 カ月・18,002 円のマイナスであったことを見ると非常に厳しい回答状況となっています。

社会福祉・介護では前年最終集計比マイナス 0.05 カ月の単純平均 1.74 カ月・446,096 円、加重平均 448,600 円と医療同様に低水準の回答です。月数回答のあった 80 組合のうち 37 組合が 2 カ月以上の回答を引き出し、そのうち 24 組合 (64.9%) が学童保育職場となっています。

その他サービスは、単純平均 2.09 カ月・589,809 円で、前年最終集計（1.98 カ月・558,039 円）を 0.11 カ月・31,770 円上回っています。前年実績比較可能組合で見ても 0.03 カ月・18,975 円のプラスとなっています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の 9 単産 208 組合から 388 件の獲得報告が寄せられています（前年最終集計 2024 年 12 月 12 日：10 単産 230 組合 413 件）。

このうち、パート、アルバイトなど時給制労働者の一時金獲得は日本医労連 89 件、生協労連 83 件、全労連・全国一般 18 件、JMITU 8 件、建交労 2 件の計 200 件となっています。月数報告のあった 131 件での単純平均は 0.836 カ月で、前年最終集計 0.851 カ月（146 件）とほぼ同水準です。金額報告のあった 45 件の単純平均は 88,235 円で、前年最終集計 76,034 円（52 件）を 12,201 円上回りました。しかし、前年実績比較可能組合で見ると月数・金額ともに僅かにマイナスとなっており、地域別最低賃金引き上げ分を一時金で調整しようとする経営側の思惑が伺えます。

臨時、契約などの月給制労働者では 131 件の報告が寄せられました。単純平均月数は 89 件平均で 1.438 カ月となり、前年最終集計 1.314 カ月（92 件）を 0.124 カ月上回りました。単純平均額は 36 件平均で 266,253 円と前年最終集計 283,766 円を 17,513 円下回り、前年実績比較可能組合で見ても 3,466 円のマイナスとなっています。

継続雇用者では、時給制労働者は生協労連 15 件、全労連・全国一般、日本医労連：各 1 件の計 17 件の獲得報告があり、単純平均 0.570 カ月（11 件）、177,219 円（3 件）です。月給制継続雇用は 40 件獲得で、単純平均 1.151 カ月（27 件）、316,979 円（11 件）となっています。